

2025 年 6 月

ジュズサンゴ種

Rouge Plant

(*Rivina humilis* L.)

ジュズサンゴ種審査基準

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ジュズサンゴ科 (Petiveriaceae) ジュズサンゴ属 (*Rivina* L.) のジュズサンゴ種 (*R. humilis* L.) の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 種子又は発根苗
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 種子繁殖性品種の場合 1,000 粒
栄養繁殖性品種の場合 15 個体
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 種子繁殖性品種 40 個体
栄養繁殖性品種 10 個体
- iii) 栽培期間 1 生育周期
- iv) 調査方法
調査個体数 特に指示がない限り、種子繁殖性品種は植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個、栄養繁殖性品種は植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
調査時期等 特に指示がない限り、第 2 段目の果房の先端まで着色した時期に行う。(10 月中旬頃。)
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が申告し、方法等が十分に提示され、審査当局が合意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種及び自家受粉品種においては、母集団標準 1 %、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 40 の場合、許容される異型個体数は 2 であり、供試個体数が 10 の場合、許容される異型個体数は 1 である。他家受粉品種及び交雑品種においては、上記一般基準の第 4 の 2 (2) 及び (3) をそれぞれ適用する。

V. グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

i) 葉の斑の有無 (形質 11)

ii) 果実の色 (形質 16)

以下の色区分とする。

Gr.1 : 黄

Gr.2 : 橙

Gr.3 : 桃

Gr.4 : 赤

VI. 特性表で使用する記号の説明

G : グループ分けに使用する形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 擬似の質的形質

(+) : VIII. に特性表の説明図等を示す。

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第5条第2項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5

大	large	7
---	-------	---

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表(Table of Characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		QN	樹高	Plant: height	植物体の地際から最頂部 までの高さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall		
2		QL (+)	枝のベタシアニン 着色の有無	Shoot: betacyanin coloration	枝のベタシアニン着色の 有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
3		QN (+)	枝のベタシアニン 着色の強弱(枝 のベタシアニン 着色がある品種 に限る。)	<u>Only variety with</u> <u>betacyanin coloration:</u> Shoot: intensity of betacyanin coloration	枝のベタシアニン着色の 強弱	観察 VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
4		QL	枝の毛の有無	Shoot: pubescence	枝の毛の有無 (節間中央部)	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
5		QN	葉身の長さ	Leaf blade: length	最大葉の葉身の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long		
6		QN	葉身の幅	Leaf blade: width	最大葉の葉身の幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		
7		PQ (+)	葉身の形	Leaf blade: shape	葉身の形 (植物体中央部の葉)	観察 VG	1 2 3	楕円形 披針形 卵形	elliptic lanceolate ovate		
8		QL	葉縁の波打ちの 有無	Leaf blade: undulation of margin	葉縁の波打ちの有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9		QN	葉の毛の粗密	Leaf blade: density of pubescence	葉の毛の粗密	観察 VG	1 2 3	無又は極粗 粗 密	absent or very sparse sparse dense		
10		PQ	葉の表面の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color on upper side	葉の表面の緑色の濃淡	観察 VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
11		QL G	葉の斑の有無	Leaf blade: variegation	葉の斑の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
12		PQ	がくの主な色	Calyx: main color	開花時のがくの主な色	観察 VG	1 2	白 桃	white pink		
13		QN (+)	果房の長さ	Fruit cluster: length (including peduncle)	第2段目の果房の長さ(果梗を含む)	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long		
14		QN (+)	一果房当たりの果実の数	Fruit cluster: number of fruits	第2段目の果房の1果房当たりの果実の数	測定 個 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many		
15		QN	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径(横径)	測定 mm MS	3 5 7	小 中 大	small medium large		
16		PQ (+) G	果実の色	Fruit: color of skin	完熟果の表面の色(第1段目の果房)	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS colour chart (indicate reference number)		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17		QN	開花から成熟するまでの早晩	Period from flowering to maturity	第1段目の花(果)房の開花始めから2～3果が着色するまでの早晩	観察 VG/ MS	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質2 枝のベタシアニン着色の有無 Char.2 Shoot: betacyanin coloration

形質3 枝のベタシアニン着色の強弱 (枝のベタシアニン着色がある品種に限る。)

Char.3 Only variety with betacyanin coloration: Shoot: intensity of betacyanin coloration



1
無
absent

9
有
present

3
弱
weak

5
中
medium

8
かなり強
strong to very strong

形質7 葉身の形 Char.7 Leaf blade: shape



1
楕円形
elliptic



2
披針形
lanceolate



3
卵形
ovate

形質 13 果房の長さ Char.13 Fruit cluster: length (including peduncle)

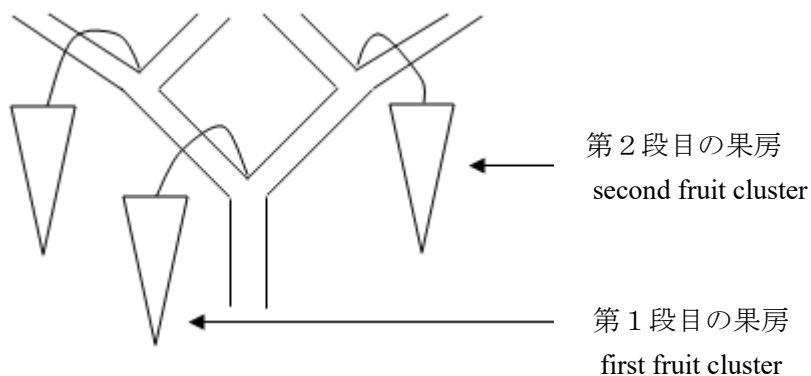


果房の長さ
length of fruit cluster

形質 13 果房の長さ Char.13 Fruit cluster: length (including peduncle)
第2段目の果房を調査する。 To be observed on second fruit cluster.

形質 14 一果房当たりの果実数 Char.14 Fruit cluster: number of fruits
第2段目の果房を調査する。 To be observed on second fruit cluster.

形質 16 果実の色 Char.16 Fruit: color of skin
第1段目の果房を観察する。 The observation should be made on first fruit cluster.



<参考写真>

